

# 校長室だより

国立市立国立第七小学校長 森田弘文

平成25年4月15日 NO.2

## 校長先生への朝の出席報告

毎朝の学級での健康観察終了後に、欠席表を校長室に持ってきてもらうことにしました。校長として、全校児童の健康状態を把握することはもちろん、児童とのふれ合いの機会をより多く持ちたいという願いからであります。児童理解のはじめの一步は、名前を知ることであり、358名全員の名前を少しでも早く覚えたいと思っています。

また、挨拶の仕方や目上の人に対する礼節も学ばせたいと考えています。基本的な話形に従って、何回も行うことにより、話し方・報告の仕方・態度などが自然に身につきます。「心を形にする」ことはとても大切なことだと考えています。

学校に来る日が200日として、30人のクラスの場合、15日で一回りします。約13回は校長室に来る事になります。校長室に入る時に、どの子も緊張しているようですが、「上手にできたよ」「えらかったね」という言葉がけを忘れないように、児童に優しく接していきたいと考えています。



### 出席調べ報告を通して児童理解!

(日替わりの二人組で)

- C: しつれいします。
- C: おはようございます。
- C: ○年○組の欠席調べをもってきました。
- C: ○年○組の○○○○です。  
○年○組の○○○○です。
- C: 今日のおやすみは  
○○君と○○さんです。
- C: よろしくお願ひします。
- C: しつれいしました。

(子ども達よくできています: 校長談)

## 校長先生との会食

全校児童との会食を通し、一人一人の児童の理解やふれ合いを深めることをねらいとして行います。6年生から順に1年生まで行い、出張などで実施できないこともあります。基本的には毎日行います。給食回数と全校児童数から考えると、年間2回くらいはできるかなと校長は喜んでおります。

先週の金曜日に、6年1組から第一回目を行いました。始めは緊張の面持ちの子ども達も自己紹介をしたりするうちに、校長先生への質問などで、会話が弾んでいき、緊張感もほぐれてきたようです。そんなコミュニケーションの中でも、校長先生に対して、失礼のないような言葉づかいや気配りしている6年生の子ども達の姿も見られ、とても感心しました。

始めに名前を覚えてもらい、その後、何度も何度も名前を確認し、必死に名前を覚えようと努力する校長先生。その後、住んでいる所、好きなこと、夢中になっていること、兄弟のこと、等々を聞いたり話したり、名前当てシャッフル座席をやったり……。今後、おしゃべりの内容を決めたり、ミニゲームやクイズなども考えていきたいと考えています。

最後に、必ず子ども達に宿題を出しています。また、子ども達と内緒の「ステキなX計画」について一緒に行き、児童が部屋を出て行く時に、お名前テストを行いおしまい。

